

## 第2回日本社会人レディースバスケットボール交流大会(西地域) 決勝戦評

日 時	2019.10.27 (日) 13:30					ブロック	A						
会場名	ソルトアリーナ防府(山口県防府市)					コート	a						
ままーず (福岡1位)	47	$\left\{ \begin{array}{cc} 15 & 16 \\ 9 & 17 \\ 4 & 8 \\ 19 & 18 \end{array} \right\}$					59	(有)玉城電工 (沖縄1位)					
審判名	クルーチーフ	佐田 明美			1st アンパイア	有澤 優子		2nd アンパイア	豊田 馨子				
コーチ		山本 千鶴					コーチ		山内 留美				
ア・コーチ							ア・コーチ		伊佐 あかね				
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリー シュート	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリー シュート	ファウル
濱里 桃子	6	0	0	0	0	0	又吉 南	9	12	2	3	0	2
藤田 美里	7	17	3	2	4	3	伊佐 あかね	10	4	0	2	0	0
山崎 有紀	8	4	0	1	2	1	奥本 侑香	11	7	1	1	2	0
萩尾 悦子	9	6	2	0	0	2	山内 留美	12	-	-	-	-	-
青木 瑠美	10	0	0	0	0	0	山口 美鈴	13	3	1	0	0	2
上野山 知也子	11	0	0	0	0	0	仲地 莉音	14	2	0	1	0	3
井上 未来	12	-	-	-	-	-	仲尾 陵香	15	26	1	10	3	2
西郷 香苗	13	0	0	0	0	0	嘉納 歩璃	18	5	1	1	0	2
吉井 佳代	14	4	0	2	0	1							
熊野 綾乃	15	-	-	-	-	-							
荒巻 真子	17	2	0	1	0	1							
久保 亜由美	18	7	0	3	1	5							
住吉 理恵	20	7	1	2	0	0							
山下 由紀子	22	0	0	0	0	0							
合 計		47	6	11	7	13	合 計		59	6	18	5	11

### 戦 評

お互い、マンツーマンディフェンスでスタート。ままーずは高さを生かしゴール下から攻め、玉城電工はスピードを生かして速攻、ペネトレイトで得点し、一進一退の攻防が続く。15 - 16の玉城電工1点リードで1Q終了。

2Q、ままーずは2 - 1 - 2のゾーンディフェンス。玉城電工は#15を中心にゾーンを攻略し、着実に得点を重ねる。得点の止まったままーずはタイムアウト後、ゴール下や3ポイントで得点を詰めるも、玉城電工も慌てることなく着実に得点し、33 - 24の玉城電工9点リードで前半終了。

3Q、ままーずは引き続きゾーン、玉城電工はマンツーマン。ままーずは3ポイントが決まり、さい先良いスタートかと思われたが、その前の#18のブロックをとられ、ノーバスケット。しかもセンター#18は4本目のファウル。その後も、#7、#8を中心に果敢に攻めるも、リングに嫌われ得点にならない。玉城電工も前半の攻め疲れからか、なかなか得点ができない。終盤、ベンチに下がっていた#15がコートに戻ると攻めのリズムが良くなり、得点につながった。28 - 41の玉城電工13点リードで終了。

4Q、ままーずは#20や#7の得点で息を吹き返す。玉城電工はすかさずタイムアウトをとり、相手にリズムを渡さない。ままーずは、積極的にシュートまで持って行くが、なかなか決まらない。残り3分半でままーずタイムアウト。前からプレッシャーをかけるも、ボールは奪えず、一方、玉城電工はディフェンスリバウンドを確実にものにして、得点につなげ、点差を詰めさせない。最後は47 - 59の12点差で終了。

堅実なディフェンスと、#15を中心とした着実な得点力を最後まで保った玉城電工が勝利を手にした。

## 第2回日本社会人レディースバスケットボール交流大会(西地域) 決勝戦評

日 時	2019.10.27 (日) 13:30					ブロック	B						
会場名	ソルトアリーナ防府(山口県防府市)					コート	b						
岐陽クラブ (山口3位)		68	$\left\{ \begin{array}{l} 21 \\ 20 \\ 18 \\ 9 \end{array} \right.$		$\left\{ \begin{array}{l} 20 \\ 14 \\ 14 \\ 9 \end{array} \right.$		57	エンドレス (山口2位)					
審判名	クルーチーフ	吉原 いつ子			1st アンパイア	日野 野乃香		2nd アンパイア	古月 遥				
コーチ		樋口 道典				コーチ		三坂 有司					
ア・コーチ		田中 典子				ア・コーチ							
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
仲西 碧	5	-	-	-	-	-	野口 彩也香	3	5	1	1	0	1
宝川 奈緒美	6	-	-	-	-	-	友弘 香織	6	4	0	2	0	2
田中 典子	7	-	-	-	-	-	佐竹 明冴未	10	21	1	6	6	0
田原 優衣	8	19	2	4	5	3	小島 可南子	11	0	0	0	0	2
河野 京子	10	-	-	-	-	-	末次 成美	12	5	1	1		1
仲西 玲奈	12	6	0	3	0	1	大田 萌衣	13	-	-	-	-	-
片山 七海	16	8	0	4	0	2	秋本 香織	22	-	-	-	-	-
阿部 莉那	27	4	1	0	1	1	古島 里美	31	2	0	0	2	1
塩田 佐知子	28	-	-	-	-	-	吉田 美里	36	4	0	2	0	0
東 真奈美	29	-	-	-	-	-	長尾 知香	52	13	0	6	1	1
越智 裕美	31	20	2	6	2	3	原口 涼香	54	3	1	0	0	3
石田 智美	71	5	1	1	0	2	藤井 渚	66	-	-	-	-	-
末藤 夕佳	73	6	0	3	0	3							
兼平 美空	75	-	-	-	-	-							
平岡 このみ	77	-	-	-	-	-							
山本 亜美	97	-	-	-	-	-							
合 計		68	6	21	8	15	合 計		57	4	18	9	11

### 戦 評

決勝の組合せは、両チーム山口県勢の戦いとなった。両チームともマンツーマンディフェンスで始まる。攻守の切り替えの早い展開となる。エンドレスはインサイドにボールを集めながらも#10が果敢にドライブを仕掛け、得点をあげていく。岐陽クラブは早い展開から、#8、#71がファウルをもらい、フリースローで得点を重ねた。岐陽クラブ#31が3Pで同点とするが、エンドレス#3がすぐさま3Pを決め返し、流れを渡さない。

第2Q、岐陽クラブ#16が素早いドライブで得点していく。対してエンドレス#52がインサイドで起点となりリバウンドシュートや1対1で得点し、点差をつめていく。しかし、エンドレスは岐陽クラブ#16のドライブが止め切れず、7点差岐陽クラブのリードで前半を終える。

第3Q、エンドレス#52のインサイドプレーで得点していく。対する岐陽クラブ#12のバスケットボールカウントで点差を10点に広げる。すぐにエンドレス#10がジャンプシュート決めるが、岐陽クラブ#8が再びバスケットボールカウントを決め、主導権を譲らない。残り2分で最大15点差となり、ディフェンスも激しくなる中、エンドレス#10がジャンプシュートを決め切り、11点差で終了。

第4Q、岐陽クラブ#12がバックドアから得点。その後、互いに起点となるプレーヤーを守り切り、3分間得点がない。たまたまエンドレスがタイムアウト。タイムアウト終了後、岐陽クラブ#31、#71のジャンプシュートで試合が動き、18点差となる。エンドレスは#12、#10の連続3Pや#52のインサイドで追い上げるが、68対57で岐陽クラブが勝利した。

## 第2回日本社会人レディースバスケットボール交流大会(西地域) 決勝戦評

日 時	2019.10.27 (日) 13:30				ブロック	C							
会場名	ソルトアリーナ防府(山口県防府市)				コート	c							
CRYSTAL (島根1位)	53	$\left. \begin{array}{l} 10 \\ 11 \\ 20 \\ 12 \end{array} \right\} 42$				柳井クラブ (山口1位)							
審判名	クルーチーフ	佐藤 安里紗			1st アンパイア	中村 夏樹		2nd アンパイア	山本 尚恵				
コーチ	漆谷 成子				コーチ	地久里 絵美							
ア・コーチ					ア・コーチ								
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリー シュート	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリー シュート	ファウル
太田 紗央里	3	24	0	8	8	3	小林 沙也加	4	4	0	2	0	2
山本 真紀	12	-	-	-	-	-	地久里 絵美	5	5	1	1	0	2
飯塚 友紀	20	8	0	4	0	0	藤井 舞弥	6	2	0	1	0	5
加藤 里美	23	-	-	-	-	-	篠塚 愛美	7	4	0	2	0	2
坂元 佳世	26	3	1	0	0	0	井上 由紀	8	16	2	5	0	1
横地 麻優子	27	-	-	-	-	-	前坂 栞	9	-	-	-	-	-
景山 美希	29	-	-	-	-	-	秋田 友恵	10	2	0	1	0	3
中島 恵理	30	-	-	-	-	-	宮本 典子	11	2	0	1	0	4
和田 恵	31	4	0	2	0	0	緒方 亜紀子	12	7	0	2	3	0
奥原 新子	34	10	0	3	4	1	樋口 伊織	14	-	-	-	-	-
加藤 理子	36	4	0	2	0	2	若林 貴代美	15	-	-	-	-	-
合 計		53	1	19	12	6	合 計		42	3	15	3	19

### 戦 評

第2回日本社会人レディースバスケットボール交流大会Cブロックの決勝は、柳井クラブ(山口1位)と、CRYSTAL(島根1位)の対戦となった。両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。柳井クラブ#4のレイアップシュートで先制。対してCRYSTALは、#34のジャンプショットで応戦。中盤、両チームともオフェンスを組み立てショットまでもっていくが、リングに嫌われ得点が伸びない。第1Q残り1分、CRYSTAL#29のジャンプショット、#3のレイアップと連続でショットが決まり、10-4のCRYSTALのリードで第1Qを終える。

第2Q、第1Qに続き、一進一退の攻防が続く。両チームとも守備が光り、なかなか得点をする事ができない。柳井クラブは#10のジャンプショット、#5の3Pが決まり、徐々に流れを掴み始める。残り4分、柳井クラブ#12のゴール下が決まり、11-11の同点となる。対してCRYSTALは、フリースロー、#12のゴール下などで加点していく。残り1分、CRYSTALは#30の3P、速攻などで勢いに乗り、21-19のCRYSTAL2点リードで前半を終える。

第3Q、柳井クラブは、#7のレイアップシュートで先制。両チームともにゴール下が決まり、一步も譲らない展開が続く。残り4分、柳井クラブ#8の3Pで逆転に成功する。しかし、CRYSTALは#3が連続でファウルを誘い、フリースローで加点し、柳井クラブのリードを許さない。その後も、CRYSTAL#34のフリースローで加点し、徐々にリードを広げる。ここで、柳井クラブのタイムアウト。しかし、タイムアウト後も柳井クラブはショットが決まらず、流れを取り戻す事ができない。対してCRYSTALは、ジャンプショット、フリースローなどを確実に決め、41-30のCRYSTAL11点リードで第3Qを終える。

第4Q、立ち上がり、両チームともショットが決まり、CRYSTALが10点リードを保ったまま試合が続く。柳井クラブは#8を中心にオフェンスを組み立てるが、流れを掴むことができない。残り3分、CRYSTAL#34のジャンプショットが決まり、この日最大の13点差となる。残り2分、柳井クラブは、オールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、相手のミス誘う。しかし、ショットが落ち、思うように得点ができない。対してCRYSTALはゴール下を冷静に決める。このままCRYSTALがリードを保ち、53-42で試合終了となった。